

SDGs project



現在私たちのグループは大きく分けて2つあります。

1つ目は、大久野島の問題を解決するグループです。

大久野島は竹原市に属しながら、管理は国が行っている島です。現在、1,000羽以上のウサギが生息していますが、その管理は十分ではなく観光客が増えるとウサギの個体数も増え、えさ不足や感染症の流行、島全体の生態系に影響を及ぼしています。この問題は竹原市、環境省ともに把握しており問題は出そろっていますが、それを実行に移せる人がいないのが現状です（環境省（2020）「大久野島未来づくりノート」）。

そこで、私たち高専生が増加する観光客と大久野島の生態系の現状を把握し、課題解決に行動することを目的としています。

今年の目標は、昨年度、この課題の現状把握と実行に移すための行動計画を立てたので、これを実行することです。具体的な取り組みとしては、給餌に対する注意喚起のポスターなどを作成したいと考えています。

また、竹原市内への観光客が大久野島の観光客に比べ少ないことから、観光客の導線を作る役割になる、モデルルートも作成したいと考えています。

このモデルルートは実際に高専生が竹原市に訪れ、市内の魅力を発信し、竹原市内の観光客を増やすことを目標にしています。また、紙媒体だと地図の範囲にも限界があるが、デジタルの地図にすることで大久野島と竹原市、両方の魅力の発信につなげることができると思います。

現在、広島県東広島市では、外国人が増えており、それに伴い幼稚園での外国人の子供の割合も増えていて、そして、そこで問題が発生しています。幼稚園からのお知らせや提出の書類は、全て日本語で、伝えたいことが外国人の親御さんにきちんと伝わらないという事態が発生しており、困っています。幼稚園からの書類を、日本語から英語に翻訳して、外国人にも住みやすい町にしていこうという活動を行っています。